

太田商工会議所管内景況調査報告書

(第96回)

2020年10月～12月期 実績

2021年 1月～ 3月期 見通し

太田商工会議所

〒373-8521 群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276 (45) 2121

FAX 0276 (45) 1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

E-Mail info@staff.otacci.or.jp

太田商工会議所 景況調査 目次

調査要項・・・・・・・・・・・・・・・・	1
調査目的や対象企業（業種）、回答率など	
設問に対する業種別回答・・・・・・・・	2
9つの質問に対する業種別による回答状況	
業種別D I 値について・・・・・・・・	5
6つの業種ごとのD I 値及び回答企業からのコメント	
全体D I 値について・・・・・・・・	9
全ての業種を併せたD I 値と1年間の推移	
比較資料編・・・・・・・・・・・・・・・・	10
同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較 (中小企業基盤整備機構、日本商工会議所LOBO調査、日銀短観)	

【調査要項】

1. 目的

管内経済動向を把握し、併せて経営者への情報提供とするとともに、今後の経営指導の資料とする。

2. 調査時点及び対象期間

- ① 調査時点 2020年12月
- ② 調査対象期間 今期（2020年10月～12月期）に対する前期（2020年7月～9月期）及び前年同期（2019年10月～12月期）との比較実績、並びに今後3ヶ月間の業況見通しについて調査。

3. 調査対象

当所会員事業所の業種を5つ（製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業）に分類し、製造業に関しては、更に「輸送機器」と「その他製造業」に分けた。

調査対象先の企業数については、太田商工会議所会員事業所の業種割合にて案分し、下記の通り調査を実施した。

4. 回答状況

	依頼数		回答数	回答率
全 体	270	→	209	77.4 (%)
輸送機器	40	→	32	80.0 (%)
その他製造	40	→	35	87.5 (%)
建設業	50	→	37	74.0 (%)
卸売業	30	→	25	83.3 (%)
小売業	40	→	28	70.0 (%)
サービス業	70	→	52	74.3 (%)

5. D I 値について

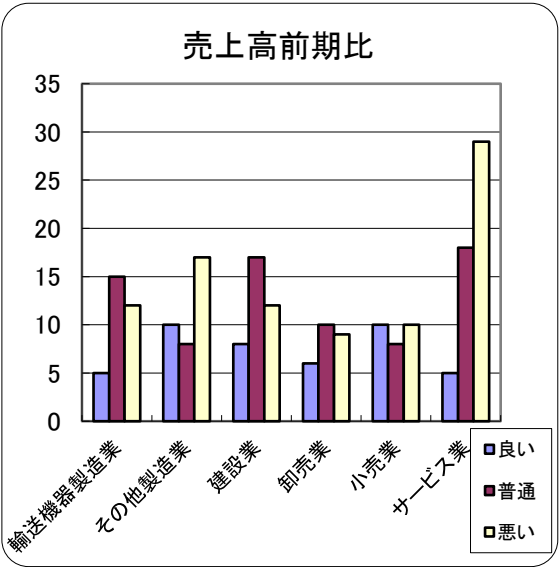
D I とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、良い（増加）と答えた企業の割合から、悪い（減少）と答えた企業の割合を引いたもので、企業経営者の景況判断をみる指標である。

（例：ある設問において、「良い」と答えた企業…15% 「悪い」と答えた企業…25%の場合、D I 値は▲10.0となる。）

(1)設問に対する業種別回答

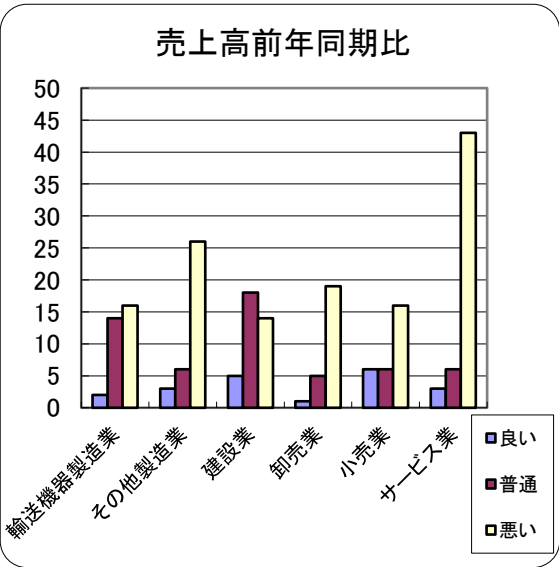
売上高前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	5	15	12	32	▲ 21.9
その他製造業	10	8	17	35	▲ 20.0
建設業	8	17	12	37	▲ 10.8
卸売業	6	10	9	25	▲ 12.0
小売業	10	8	10	28	0.0
サービス業	5	18	29	52	▲ 46.2
合計	44	76	89	209	▲ 21.5



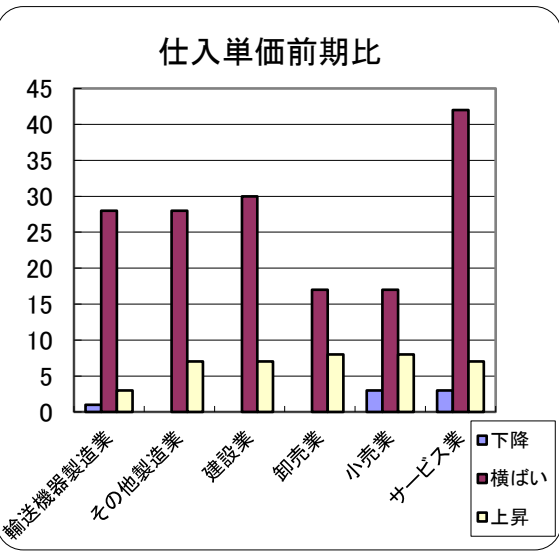
売上高前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	2	14	16	32	▲ 43.8
その他製造業	3	6	26	35	▲ 65.7
建設業	5	18	14	37	▲ 24.3
卸売業	1	5	19	25	▲ 72.0
小売業	6	6	16	28	▲ 35.7
サービス業	3	6	43	52	▲ 76.9
合計	20	55	134	209	▲ 54.5



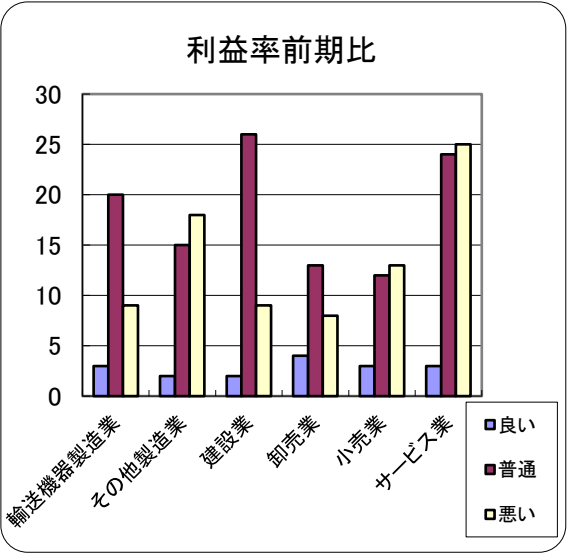
仕入単価前期比

	下降	横ばい	上昇	合計	DI値
輸送機器製造業	1	28	3	32	▲ 6.3
その他製造業	0	28	7	35	▲ 20.0
建設業	0	30	7	37	▲ 18.9
卸売業	0	17	8	25	▲ 32.0
小売業	3	17	8	28	▲ 17.9
サービス業	3	42	7	52	▲ 7.7
合計	7	162	40	209	▲ 15.8



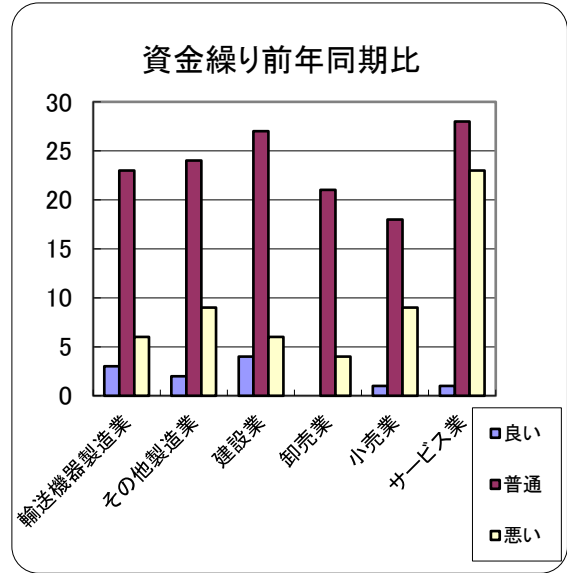
利益率前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	3	20	9	32	▲ 18.8
その他製造業	2	15	18	35	▲ 45.7
建設業	2	26	9	37	▲ 18.9
卸売業	4	13	8	25	▲ 16.0
小売業	3	12	13	28	▲ 35.7
サービス業	3	24	25	52	▲ 42.3
合計	17	110	82	209	▲ 31.1



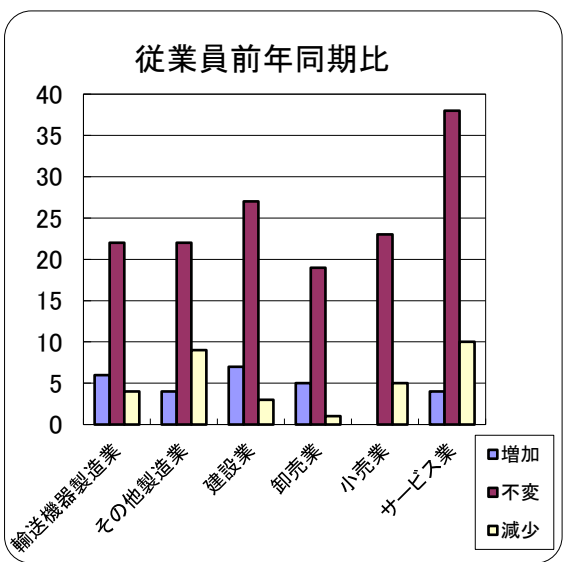
資金繰り前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	3	23	6	32	▲ 9.4
その他製造業	2	24	9	35	▲ 20.0
建設業	4	27	6	37	▲ 5.4
卸売業	0	21	4	25	▲ 16.0
小売業	1	18	9	28	▲ 28.6
サービス業	1	28	23	52	▲ 42.3
合計	11	141	57	209	▲ 22.0



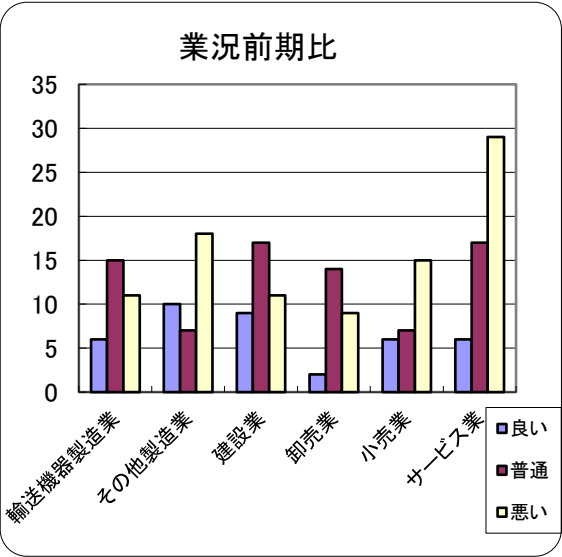
従業員前年同期比

	増加	不変	減少	合計	DI値
輸送機器製造業	6	22	4	32	6.3
その他製造業	4	22	9	35	▲ 14.3
建設業	7	27	3	37	10.8
卸売業	5	19	1	25	16.0
小売業	0	23	5	28	▲ 17.9
サービス業	4	38	10	52	▲ 11.5
合計	26	151	32	209	▲ 2.9



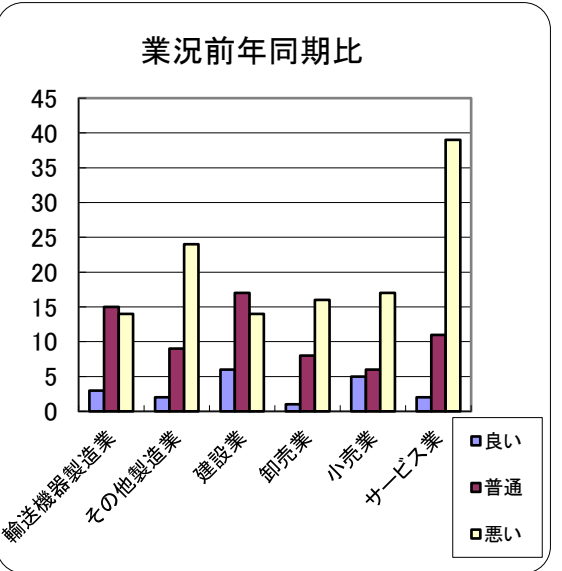
業況前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	6	15	11	32	▲ 15.6
その他製造業	10	7	18	35	▲ 22.9
建設業	9	17	11	37	▲ 5.4
卸売業	2	14	9	25	▲ 28.0
小売業	6	7	15	28	▲ 32.1
サービス業	6	17	29	52	▲ 44.2
合計	39	77	93	209	▲ 25.8



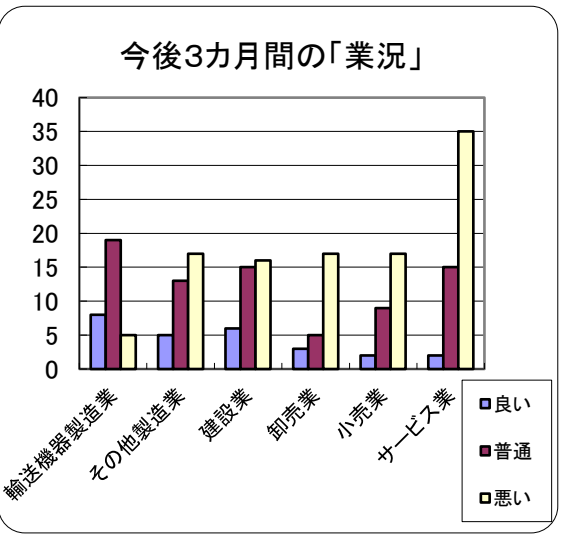
業況前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	3	15	14	32	▲ 34.4
その他製造業	2	9	24	35	▲ 62.9
建設業	6	17	14	37	▲ 21.6
卸売業	1	8	16	25	▲ 60.0
小売業	5	6	17	28	▲ 42.9
サービス業	2	11	39	52	▲ 71.2
合計	19	66	124	209	▲ 50.2



今後3ヶ月間の「業況」見通し

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	8	19	5	32	9.4
その他製造業	5	13	17	35	▲ 34.3
建設業	6	15	16	37	▲ 27.0
卸売業	3	5	17	25	▲ 56.0
小売業	2	9	17	28	▲ 53.6
サービス業	2	15	35	52	▲ 63.5
合計	26	76	107	209	▲ 38.8



(2)業種別DI値について

輸送機器	前期(7～9月期)	今期(10～12月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 40.0	▲ 21.9	18.1
売上高前年同期比	▲ 77.1	▲ 43.8	33.3
仕入単価前期比	0.0	▲ 6.3	▲ 6.3
利益率前期比	▲ 60.0	▲ 18.8	41.2
資金繰り前年同期比	▲ 22.9	▲ 9.4	13.5
従業員前年同期比	▲ 17.1	6.3	23.4
業況前期比	▲ 42.9	▲ 15.6	27.3
業況前年同期比	▲ 77.1	▲ 34.4	42.7
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 20.0	9.4	29.4

[企業コメントより]

- ・先が見えてきました。発注してくださる取引先様に感謝です【金型製造】
- ・持続化給付金のおかげで助かったが、まだ足りない状況だ【部品表面処理】
- 自動車メーカーが延期していたモデルチェンジを各社実施し始めたため(仕事が増えている)【内装部品製造】
- ・コロナの影響大【部品加工】

その他製造業	前期(7～9月期)	今期(10～12月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 34.3	▲ 20.0	14.3
売上高前年同期比	▲ 74.3	▲ 65.7	8.6
仕入単価前期比	▲ 8.6	▲ 20.0	▲ 11.4
利益率前期比	▲ 48.6	▲ 45.7	2.9
資金繰り前年同期比	▲ 37.1	▲ 20.0	17.1
従業員前年同期比	▲ 11.4	▲ 14.3	▲ 2.9
業況前期比	▲ 28.6	▲ 22.9	5.7
業況前年同期比	▲ 71.4	▲ 62.9	8.5
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 34.3	▲ 34.3	0.0

[企業コメントより]

- ・コロナの影響がおさまらず、全てにおいて悪い【繊維製品製造】
- ・徐々に受注量は回復しているが、原材料不足により仕入高が上昇している【電気機器板金部品製造】
- ・最悪期は脱したものの、全快にはまだ時間がかかると思う【省力化機械システム製造】
- ・リフォームや買い替え需要の高まりにより、好調に推移している。先行きの見通しが難しい状況ではあるが、今後も堅調に推移していくことを見込んでいる【住宅用電化製品製造】
- ・10月から海外輸出は復活したが、国内既存市場は未だ80%程度の回復にとどまっていて、更なる景気刺激策が必要である。その意味ではGoToキャンペーンは好評であったが、12月中旬に全国一斉停止されたため、受注がなくなり今後が心配される【食品製造】
- ・コロナ禍、ジワリジワリと影響が出てきてしばらくは仕事が減っていくと思います【建設用金属製品】

建設業	前期(7～9月期)	今期(10～12月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 13.2	▲ 10.8	2.4
売上高前年同期比	▲ 29.0	▲ 24.3	4.7
仕入単価前期比	▲ 7.9	▲ 18.9	▲ 11.0
利益率前期比	▲ 29.0	▲ 18.9	10.1
資金繰り前年同期比	▲ 13.2	▲ 5.4	7.8
従業員前年同期比	0.0	10.8	10.8
業況前期比	▲ 31.6	▲ 5.4	26.2
業況前年同期比	▲ 44.7	▲ 21.6	23.1
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 34.2	▲ 27.0	7.2

[企業コメントより]

- ・顧客先の設備投資が減少傾向のため(悪化方向を予想)【総合建設業】
- ・コロナの影響が徐々に出つつある。もっと悪くなるだろう【造園工事】
- ・とにかく新型コロナが終息しない限り良い方向に行かない【水回り工事】
- ・コロナ心配です【一般住宅建築】

卸売業	前期(7～9月期)	今期(10～12月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 53.9	▲ 12.0	41.9
売上高前年同期比	▲ 80.8	▲ 72.0	8.8
仕入単価前期比	▲ 19.2	▲ 32.0	▲ 12.8
利益率前期比	▲ 42.3	▲ 16.0	26.3
資金繰り前年同期比	▲ 26.9	▲ 16.0	10.9
従業員前年同期比	19.2	16.0	▲ 3.2
業況前期比	▲ 57.7	▲ 28.0	29.7
業況前年同期比	▲ 80.8	▲ 60.0	20.8
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 34.6	▲ 56.0	▲ 21.4

[企業コメントより]

・前期よりは動きが出てきた感じであるが、全体的に物件が少ない為、競争は激化している。県外業者を含め、同業各社が低価格で攻めてきている。仕入先メーカーに相談したところ、薄利での受注獲得の方針のようだ。これまで何年もかけて築いてきた得意先との関係であるが価格対応できなければ受注につながらない為、少額の案件も身を削り対応している。(景気が良ければ断りたいような話もある)【電機工事関連設備卸】

- ・新型コロナの影響が長引き今年度の業況見通しは大変厳しい状況で終わりそうです【食材卸売】
- ・コロナの影響により今後仕事が止まるのでは【木材卸】

小売業	前期(7～9月期)	今期(10～12月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 46.7	0.0	46.7
売上高前年同期比	▲ 66.7	▲ 35.7	31.0
仕入単価前期比	▲ 20.0	▲ 17.9	2.1
利益率前期比	▲ 36.7	▲ 35.7	1.0
資金繰り前年同期比	▲ 30.0	▲ 28.6	1.4
従業員前年同期比	▲ 6.7	▲ 17.9	▲ 11.2
業況前期比	▲ 50.0	▲ 32.1	17.9
業況前年同期比	▲ 76.7	▲ 42.9	33.8
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 53.3	▲ 53.6	▲ 0.3

[企業コメントより]

・コロナの影響で業況・売上等横バイの体をなしていますが、全体としては全て(の面で)減少という感じです。先行きが読めません。商店街に人が出てきません【縫製資材小売】

・今年イベントは前年比で0、一店売上は前年に比べて少々多い状況ですが、イベント他の売上は悪い【食品製造販売】

・手巻きたばこが順調に売れている。さらに一服の時間を大切にするためにパイプ、キセルもジワジワ伸びています。【嗜好品販売】

・大型商業施設内にテナント出店をしているが、前期(夏季)にくらべて店頭通過客数は増えているように感じる。だがその一方で、購買客数、客単価は下がっている。又、コロナ対策関係の経費が増している【アクセサリー販売】

・年明け後、コロナがどうなってゆくのか不安です【食品製造販売】

・10月、11月の減少分を12月の御歳暮でカバーしたい。家飲みを期待しています【飲料等小売】

・コロナ禍に於ける経済停滞(人、モノの流通減)が重くのしかかっている【雑貨店】

・コロナで葬儀の簡素化が進み、品物の動きが悪化、資金繰りも苦しい為、営業していくのが困難となっている現況です。【冠婚葬祭業】

・契約先の条件、政策がきびしくなった【化粧品販売】

サービス業	前期(7～9月期)	今期(10～12月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 35.9	▲ 46.2	▲ 10.3
売上高前年同期比	▲ 81.1	▲ 76.9	4.2
仕入単価前期比	▲ 11.3	▲ 7.7	3.6
利益率前期比	▲ 37.7	▲ 42.3	▲ 4.6
資金繰り前年同期比	▲ 56.6	▲ 42.3	14.3
従業員前年同期比	▲ 17.0	▲ 11.5	5.5
業況前期比	▲ 47.2	▲ 44.2	3.0
業況前年同期比	▲ 90.6	▲ 71.2	19.4
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 49.1	▲ 63.5	▲ 14.4

[企業コメントより]

・2019年10月は台風の影響で主力先の生産停止があった。また2020年は4, 5, 6月が(コロナのために)大幅減産になったが、その後生産は元に戻った。一時社内的な原因で売上高が伸びなかったこともあったがそれもほぼ解決し、来年は良くなるのではないかと見込んでいる【陸送業】

・取引先に工場閉鎖に伴う特需があり前半は売上高が上昇した。
・後半はコロナの影響により売上高が減少。
・資金繰りは県特別貸付のおかげで何とか間に合っている。
・大手先の休業により、関連ドライバーは休業になったが、会社として補償した【運輸業】

・先が見えないので何も言えない。ただ私の店は大衆的な商いですから、大して変わらないです【食品販売】

・コロナ前とコロナ後との比較のうえでは業績が良くないのは当然かと思う。2021年になってワクチン接種の時期になるまではコロナ終息は見込めないし、業績も回復しないと感じる。小手先の改善策では市場は動かない【広告代理店】

・コロナによる時間短縮等で、今年は全ての月が前年比の60～70%の売上げになっており、補助金だけではやりくりが大変な状況となっています。早く良くなる事を願っています【レストラン】

・10～12月期は売り上げが悪く、前年同期と比較すると15～20%の売り上げ減を見込んでいる。仕入れも主力商品の生産、出荷が年々減少しているため、高値が続いていて、利益率は前期に比べ悪くなっている。業況は、他の飲食店よりは比較的回復していると言われているものの、今後の3ヶ月も見通しは明るくないだろうと考えている。対策として常連客に定期的にDMを出して売り上げの下支えを試みている【レストラン】

・コロナウイルスの為、悪いです。安全性を担保して、密を避けて飲食ができるところを提案できればと考えます【ケータリング業】

・今まで経験したことの無いコロナ禍での年末年始です。なかなか例年並の売上とはいかないでしょうが、それに少しでも近づくように期待したい【理容業】

・製造業の稼働状況が悪い為、全国で発生する金属くずが減っている。一方でこの時期に電炉メーカーは生産を上げてくる為、原料入手が難しくなっている。このため原料の価格を上げざるを得ない状況だが、資材が発生してこない以上、売上を上げることもできず、ジレンマの状態が続くことだろう【資源回収業】

・このままいくとかなりきびしくなる。ガマンガマンと言ってもいつまでガマンしてればいいかわからない。とにかくお店をつぶさないことと雇用を守ること【居酒屋】

・相変わらずの宴会自粛続く。今月に至っては、時短要請があったが22時～5時の線引きがあいまいで理解不能。対象外は補償がないため、補償範囲を拡大願う【飲食店】

・女性やお年寄りコロナが怖くて来店に二の足を踏んでいる方が多い様です【美容室】

・コロナ感染者の増加とともに弁当需要が伸びています。皆様かなりコロナを意識されていて、食事が済んだら長居せず帰られます。3月位からコロナ事情が変わると考えられているので、それまでは臨機応変に対応しなければならないと考えています【喫茶店】

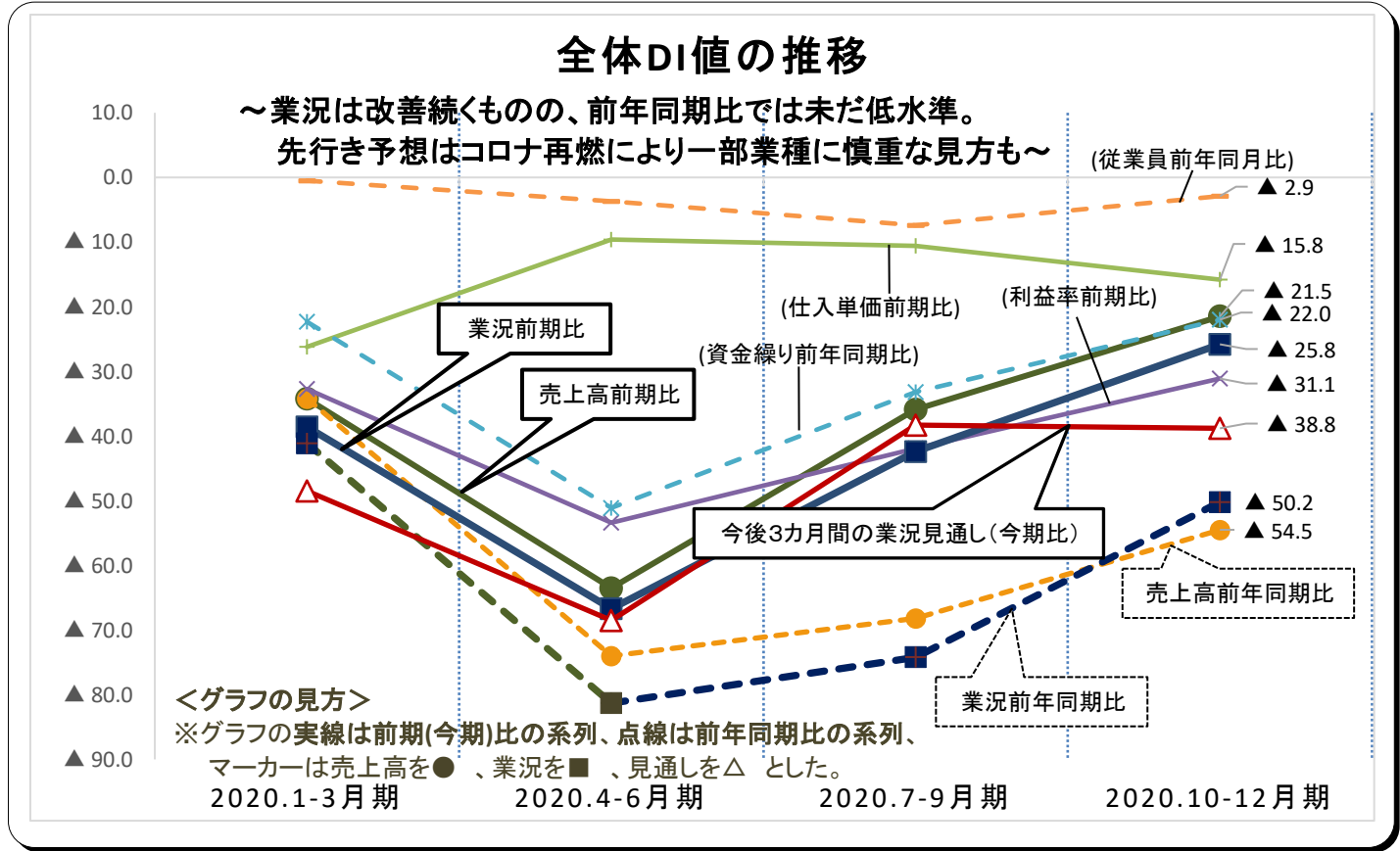
(3) 全体DI値について

全 体 D I 値	前期(7～9月期)	今期(10～12月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 35.9	▲ 21.5	14.4
売上高前年同期比	▲ 68.2	▲ 54.5	13.7
仕入単価前期比	▲ 10.6	▲ 15.8	▲ 5.2
利益率前期比	▲ 41.9	▲ 31.1	10.8
資金繰り前年同期比	▲ 33.2	▲ 22.0	11.2
従業員前年同期比	▲ 7.4	▲ 2.9	4.5
業況前期比	▲ 42.4	▲ 25.8	16.6
業況前年同期比	▲ 74.2	▲ 50.2	24.0
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 38.3	▲ 38.8	▲ 0.5

(4) 動向について

- ・全体の売上・業況DI値は引き続き上昇し、改善傾向が続いている。ただし前年同期比の水準をみれば売上・業況とも▲50以下の大幅マイナスの状況で、コロナ以前への回復はまだほど遠い。
- ・業種別に前期比の業況DIの変化をみると、輸送機器や建設業、卸・小売業で大幅に上昇したが、その他の製造業とサービス業では比較的小幅の上昇にとどまった。
- ・先行きの業況見通しDIは、全体では横ばい圏内にある。輸送機器が今期比大幅に上昇し+9.4と「好転」超となる一方で、足元のコロナ感染急拡大を受け卸・小売業とサービス業ではいずれも低下を予想するなど、一部には慎重な見方も広がっている。

全 体 D I 値 の 推 移	2020.1-3月期	2020.4-6月期	2020.7-9月期	2020.10-12月期
売上高前期比	▲ 34.2	▲ 63.5	▲ 35.9	▲ 21.5
売上高前年同期比	▲ 34.2	▲ 74.0	▲ 68.2	▲ 54.5
仕入単価前期比	▲ 26.2	▲ 9.6	▲ 10.6	▲ 15.8
利益率前期比	▲ 32.7	▲ 53.4	▲ 41.9	▲ 31.1
資金繰り前年同期比	▲ 22.3	▲ 51.1	▲ 33.2	▲ 22.0
従業員前年同期比	▲ 0.5	▲ 3.7	▲ 7.4	▲ 2.9
業況前期比	▲ 38.6	▲ 66.7	▲ 42.4	▲ 25.8
業況前年同期比	▲ 41.1	▲ 81.3	▲ 74.2	▲ 50.2
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 48.5	▲ 68.5	▲ 38.3	▲ 38.8



(4)比較資料編

当所調査のDI値をもとに、同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較を行った。

(なお、日本商工会議所のLOBO調査については毎月調査となっているため、10～12月の平均値でDI値を算出)

①売上高前期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 20.9	▲ 26.3	－	－
建設業	▲ 10.8	▲ 18.6	－	－
卸売業	▲ 12.0	▲ 16.4	－	－
小売業	0.0	▲ 29.3	－	－
サービス業	▲ 46.2	▲ 20.7	－	－
全 体	▲ 21.5	▲ 23.7	－	－

②売上高前年同期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 55.2	－	▲ 56.8	▲ 9.4
建設業	▲ 24.3	－	▲ 22.1	
卸売業	▲ 72.0	－	▲ 42.8	
小売業	▲ 35.7	－	▲ 37.2	▲ 8.5
サービス業	▲ 76.9	－	▲ 57.9	
全 体	▲ 54.5	－	▲ 45.7	▲ 8.7

(↑ 非製造業という括り)

③仕入単価前期比DI (「下降」と答えた割合－「増加」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 13.4	－	▲ 17.4	－
建設業	▲ 18.9	－	▲ 24.4	－
卸売業	▲ 32.0	－	▲ 21.4	－
小売業	▲ 17.9	－	▲ 18.1	－
サービス業	▲ 7.7	－	▲ 17.4	－
全 体	▲ 15.8	－	▲ 19.2	－

(仕入単価・前年同期比)

④利益率前期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 32.8	▲ 51.9	▲ 50.7	▲ 39.7
建設業	▲ 18.9	▲ 28.1	▲ 24.7	
卸売業	▲ 16.0	▲ 46.4	▲ 35.8	
小売業	▲ 35.7	▲ 44.6	▲ 38.1	▲ 36.9
サービス業	▲ 42.3	▲ 47.3	▲ 56.0	
全 体	▲ 31.1	▲ 45.2	▲ 43.4	▲ 37.6

(採算・前年同期比) (採算・前年同期比) (経常利益・前年同期比)

⑤資金繰り前年同期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(全規模)
製造業	▲ 14.9	▲ 19.5	▲ 24.4	6.0
建設業	▲ 5.4	▲ 10.7	▲ 5.3	
卸売業	▲ 16.0	▲ 10.9	▲ 16.2	
小売業	▲ 28.6	▲ 22.3	▲ 24.0	8.0
サービス業	▲ 42.3	▲ 21.2	▲ 33.2	
全 体	▲ 22.0	▲ 19.0	▲ 22.5	7.0

(前期比)

(直近比)

⑥従業員前年同期比DI（「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 4.5	▲ 11.9	—	—
建設業	10.8	▲ 3.5	—	—
卸売業	16.0	▲ 5.8	—	—
小売業	▲ 17.9	▲ 4.9	—	—
サービス業	▲ 11.5	▲ 10.8	—	—
全 体	▲ 2.9	▲ 8.4	—	—

⑦業況前期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 19.4	▲ 29.2	—	▲ 27.0
建設業	▲ 5.4	▲ 17.1	—	9.0
卸売業	▲ 28.0	▲ 21.5	—	▲ 24.0
小売業	▲ 32.1	▲ 31.4	—	▲ 9.0
サービス業	▲ 44.2	▲ 25.3	—	▲ 41.0
全 体	▲ 25.8	▲ 26.1	—	▲ 18.0

（サービス業は宿泊・飲食の数字）

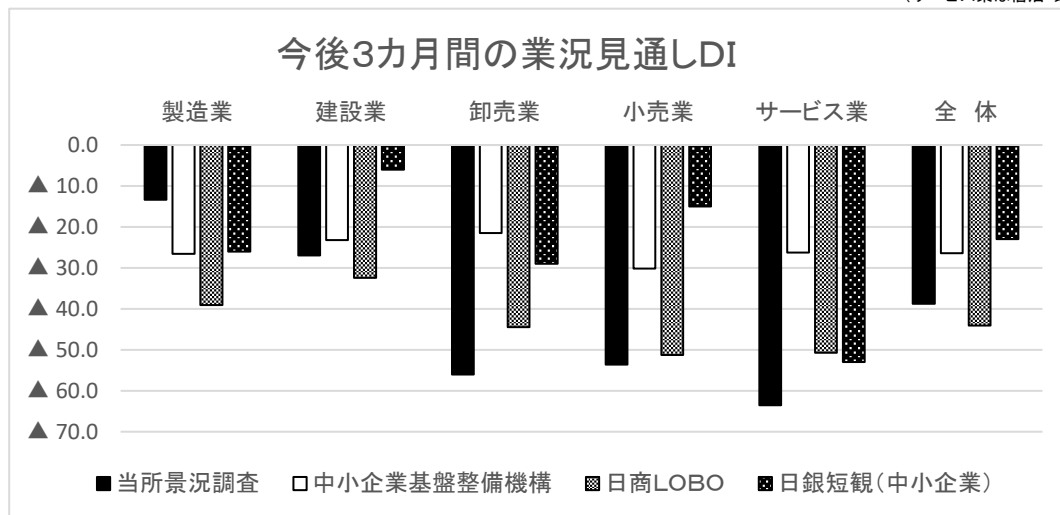
⑧業況前年同期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 49.3	—	▲ 57.1	—
建設業	▲ 21.6	—	▲ 26.5	—
卸売業	▲ 60.0	—	▲ 44.0	—
小売業	▲ 42.9	—	▲ 44.1	—
サービス業	▲ 71.2	—	▲ 55.4	—
全 体	▲ 50.2	—	▲ 47.4	—

⑨今後3ヶ月間の業況見通しDI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 13.4	▲ 26.6	▲ 39.1	▲ 26.0
建設業	▲ 27.0	▲ 23.2	▲ 32.4	▲ 6.0
卸売業	▲ 56.0	▲ 21.5	▲ 44.5	▲ 29.0
小売業	▲ 53.6	▲ 30.2	▲ 51.3	▲ 15.0
サービス業	▲ 63.5	▲ 26.3	▲ 50.7	▲ 53.0
全 体	▲ 38.8	▲ 26.4	▲ 44.1	▲ 23.0

（サービス業は宿泊・飲食の数字）



太田商工会議所管内景況調査報告書

～調査・分析・発行～

太田商工会議所

〒 373-8521

群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276 (45) 2121

FAX 0276 (45) 1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

Mail info@staff.otacci.or.jp

2021年（令和3年）1月6日 発行